

授業科目	ヘルスアセスメント1	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	宇野智子 (保健医療学研究棟 E204 号) e-mail : tuno@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	中村 円、飯澤良祐、(佐藤美智子)		
概要	看護職者が対象者の健康状態と日常生活との関連についてアセスメントすることは、看護実践における基本である。本科目では講義と演習を通して、看護職者として必要な基礎的知識・技術・態度を習得するとともに、看護学の立場から人間への理解を深めることを目的としている。主な内容はヘルスアセスメントの概念、健康歴の聴取、全身の概観、バイタルサインと身体各機能のアセスメントである。本科目は、各看護学専門領域におけるアセスメントに必要な基礎的学習として位置づけられる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>ヘルスアセスメントの概念について説明できる。</li> <li>ヘルスアセスメントに必要な基礎的知識・技術・態度について説明できる。</li> <li>健康歴聴取の目的に沿って健康歴の聴取を実施できる。</li> <li>看護におけるバイタルサインの意義を踏まえて、バイタルサインのアセスメントを実施できる。</li> <li>身体各機能のアセスメント技術を実施できる。</li> <li>看護の視点から、得られた情報の分析・解釈ができる。</li> </ol>		
関連科目	解剖学、生理学、基礎看護方法1、基礎看護方法2、ヘルスアセスメント2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物(20%)、筆記試験(60%)、実技試験(20%)の3項目より評価し、それらすべての合格により単位は認定される。</li> <li>提出物は提出状況および内容の目標到達状況に基づき、60点以上を合格とする。</li> <li>筆記試験は定期期末の結果に基づき、60点以上を合格とする。</li> <li>実技試験は実技試験採点表(試験前に提示)に基づき、60点以上を合格とする。</li> </ul>
	筆記試験	60%	
	実技試験	20%	
教科書	<ol style="list-style-type: none"> <li>稲葉佳江他編著 [2011年・3,850円] 「看護ヘルスアセスメント」 メヂカルフレンド社</li> <li>山内豊明 [2014年・1,980円] 「フィジカルアセスメントワークブック(身体の仕組みと働きをアセスメントにつなげる)」 医学書院</li> </ol>		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>藤崎郁 [2019年・4,180円] 「フィジカルアセスメント完全ガイド」 学研</li> <li>福井次矢他日本語版監修 [2015年・9,900円] 「バイツ診察法」 メディカル・サイエンス・インターナショナル</li> </ol>		
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習要項、演習要項、講義資料を熟読する。</li> <li>演習時の事前・事後課題(ナーシング・スキル含む)に計画的に取り組む。</li> <li>掲示は直接自分の目で確認し、必要な行動を速やかにとる。</li> <li>学生サポートシステムからの連絡を確実に受信できるようにしておく。</li> </ol>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	本科目の目的・目標、学習内容・方法 ヘルスアセスメントの概念(ヘルスアセスメントの定義と目的、構成要素)、身体アセスメントの目的と共通技術(視診、触診、打診、聴診、全身の概観)	事前:教科書の該当箇所を読む	講義	宇野
2	身体計測、筋・骨格系のアセスメント:計測、身体各部の視診・触診、関節可動域の測定など	事前:教科書の該当箇所を読む 事後:事後学習課題	〃	〃
3	バイタルサインのアセスメント:バイタルサインの定義、看護における意義、体温・脈拍・呼吸・血圧のアセスメント	事前:教科書の該当箇所を読む 事後:事後学習課題	〃	〃
4	バイタルサインのアセスメント:体温・脈拍・呼吸・血圧のアセスメントの実際-1	事前:演習事前課題、演習準備 事後:演習事後課題	講義・ 演習	宇野・中 村・飯澤・

				(佐藤)
5	バイタルサインのアセスメント：体温・脈拍・呼吸・血圧のアセスメントの実際-2	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	〃
6	身体計測、筋・骨格系のアセスメント：計測、身体各部の視診・触診、関節可動域の測定など	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
7	神経系のアセスメント：精神状態、小脳機能、知覚神経、筋伸張反射の診査など	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	講義・ 演習	宇野・中 村・飯澤・ (佐藤)
8	HEENTのアセスメント：頭頸部、口腔、咽頭、眼、耳、鼻の視診・触診、視覚と聴覚機能の診査など	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
9	腹部のアセスメント：腹部の視診・聴診・打診・触診	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	〃	〃
10	肺・胸郭のアセスメント：胸郭および呼吸運動時の視診・触診、呼吸音の聴診など	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	講義	宇野
11	肺・胸郭のアセスメント：胸郭および呼吸運動時の視診・触診、呼吸音の聴診など	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中 村・飯澤・ (佐藤)
12	心・血管系のアセスメント：循環状態の視診・触診、心臓5領域の視診・触診・聴診など	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	講義	宇野
13	心・血管系のアセスメント：循環状態の視診・触診、心臓5領域の視診・触診・聴診など	事前：演習事前課題、演習準備 事後：演習事後課題	演習	宇野・中 村・飯澤・ (佐藤)
14	健康歴とインタビュー：健康歴の目的と構成要素、インタビューの基本的原則	事前：配付資料を読む 事後：学習課題	講義	宇野
15	健康歴とインタビュー：機能面からみた健康パターンに基づく健康歴の聴取	〃	講義・グル ープ学習	宇野